

— STAM 誌が注目する出版トレンド —

オープンサイエンスと著作権

日時：2015年9月14日（月）12:15～13:00

会場：2H（名古屋国際会議場 2 階）

主催： 国立研究開発法人 物質・材料研究機構
National Institute for Materials Science  

参加方法等詳細は ▶ <http://meeting.jsap.or.jp/luncheon.html>



講演『オープンサイエンスと著作権』

谷藤 幹子

物質・材料研究機構 科学情報室長 / STAM 出版ディレクター

内閣府が今年3月に、サイエンスの新たな飛躍の時代の幕開けとして我が国におけるオープンサイエンス推進のあり方についての基本方針を発表しました。国際的動向を踏まえ、公的研究資金を用いた研究成果（論文、生成された研究データ等）について、科学界はもとより産業界及び社会一般から広く容易なアクセス・利用を可能にし、知の創出に新たな道を開くとともに、効果的に科学技術研究を推進することでイノベーションの創出につなげることを目指そうという趣旨です。

この実現には、論文執筆者での著作権の理解が欠かせません。論文著作権および今日のオープンアクセスによってもたらされた新たな二次利用に伴う利用ライセンスについて、その概要を紹介します。



STAM Updates

高井 まどか

東京大学大学院工学系研究科 教授 / STAM 編集委員

日本発オープンアクセスジャーナルとしてトップに返り咲いた STAM (Science and Technology of Advanced Materials)。世界でみても材料科学分野上位 16% にランクイン。

インパクトファクタがジャーナルのすべてではないことを熟知しつつもその傾向と対策の秘話、そして、その先にみる日本の材料科学総合誌としての展望を紹介します。